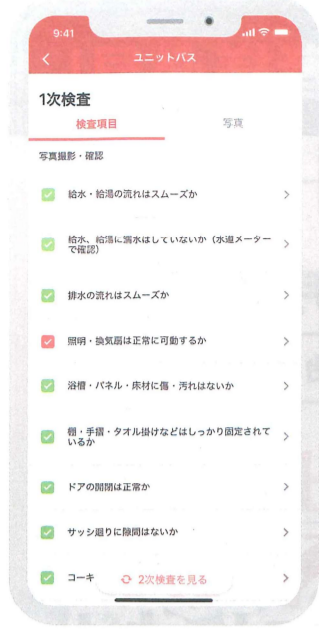


高品質を支える厳しい検査体制 現場管理アプリがバックアップ



ANDPAD上で検査項目のチェックもできる。カスタマイズした検査項目を用意すれば、現場でのチェックも簡単にスピーディーに正確に行える。



ボラスグループボラスのリフォーム 埼玉事業所 業務推進係 藤谷 洸氏

ボラスのリフォーム（埼玉県越谷市）では、施工後に行う検査にデジタル技術を導入し、業務

埼玉県の有力ビルダーのボラスグループは、グループ内に検査専門会社を持つほど高品質維持のための検査に余念がない。リフォームでも同様に「木工検査、雨仕舞検査、完了検査」と、複数の検査を受ける現場も数多くある。さらに同社では、施工管理システムを導入し、現場管理の効率化を図っている。ボラスのリフォームの藤谷洸氏に取材した。

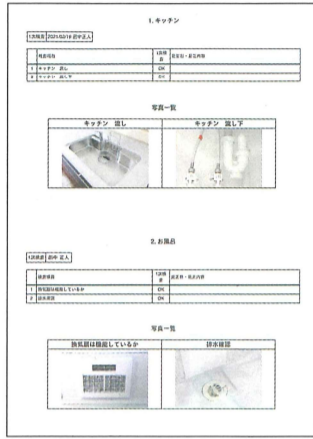
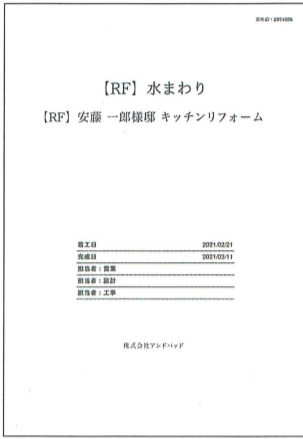
契約から完了までの リードタイムも大幅に減少

の効率化を図っている。もともと、同社では100万円を超えるリフォーム現場には住宅検査サービスを手掛けているグループ会社の住宅品質保証（埼玉県越谷市）による第三者検査を実施し、品質管理に力を入れている。住宅品質保証は、ボラスグループのみならず、他社の施工物件についても、検査を行っており、検査数の実績は年間500件前後に上る。

この検査業務に活用しているのが施工管理システムANDPADの「検査」機能だ。システム導入によって、同社では契約から（施工）完了までのリードタイムを飛躍的に短縮することができた。導入以前、300万円のリフォームの現場では平均して130日強のリードタイムを要していたものが、システム導入後は120日と10%の短縮につながっている。

リフォームの現場が進むと、最初は現場監督が何十項目とあるチェックシートを使って自主

検査後の報告書としても出力でき、手間もかからない。



以前から、検査のためのチェックシートと現場写真を使って検査を行っていたが、シートと現場写真が連動しておらず、二重チェックが多少甘い部分もあった。「システム導入前は、チェックシートはあるけど写真は無い、とか写真はあってもシートがないといったケースもありましたが、ANDPADを使えば、チェックシートと写真がリンクしているので、スムーズにダブルチェックをすることができるよう」（藤谷氏）

また、時間を取られていた協力業者とのやり取りも格段にスピーディーに。特に変化が大きかったのは、施工ミス等のやり直し工事で、以前に比べると70〜80%減。現場で変更事項が起きた時も、内容の連絡が職人にタイムラグなしに届くようになり、現場の進行もよりスムーズになった。

「平均で2・5時間残業時間が減ったのもいい効果です。その場に行かなくても現場の様子を知ることができ、休日出勤も減りました」（藤谷洸氏）

【レポート／企画開発部マネージャー 鹿熊 佳恵】